

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		神経病態生理学Ⅱ研究		八木田 佳樹
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解するために、当該分野の未解決課題について取り組む。 (2) 得られた新知見を発表する手法を身につけるために、学会発表、論文発表を行う。				
授業到達目標				
(1) 文献検索などで、目的に沿った情報収集ができる。 (2) 脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解できる。 (3) 学会発表、論文作成ができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	12:00 - 13:00	八木田 佳樹	脳卒中の病態：疫学、臨床病型、危険因子
隔週	火	12:00 - 13:30	八木田 佳樹	脳循環代謝の基礎：脳血管構造、血液脳関門の機能、脳虚血応答
隔週	水	16:00 - 17:00	大山 直紀	脳卒中の病態：疫学、臨床病型、危険因子
隔週	木	9:00 - 11:00	井上 剛	脳卒中の診療システム：多職種連携
隔週	木	13:00 - 14:00	山下 眞史	脳卒中の治療：再灌流療法の実際、急性期の全身管理
隔週	木	14:00 - 15:00	植村 順一	脳卒中の検査：画像所見の意味、超音波検査の有用性
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
中間発表の抄録作成時に、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784787826169, 必携脳卒中ハンドブック (改訂第4版), 高嶋修太郎, 伊藤義彰 (編集), 診断と治療社, 2024 ISBN-9784525248512, 脳卒中病態学のススメ, 下畑享良 (編集), 南山堂, 2018				
参考書				
ISBN-9784787826169, 必携脳卒中ハンドブック (改訂第4版), 高嶋修太郎, 伊藤義彰 (編集), 診断と治療社, 2024 ISBN-9784525248512, 脳卒中病態学のススメ, 下畑享良 (編集), 南山堂, 2018				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 関連分野の文献を読み、仮説の検証法を自分なりに考えておく。 (2) 準備学習には毎回1時間程度を要する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した研究成果をあげ、脳卒中学の深い学識を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
毎回発表を担当するか、最低1回質問・コメントを行うこと。				